

実際にあった事件を分析し、実務に活かす

事例に学ぶ『危機管理体制・社内体制』の確立と運用のあり方

～ 事例検討を通じて、実務上の「勘所」を考える ～

《開催要領》 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。

日時▶ 2018年 3月29日(木) 13:00～17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム (東京: 麹町)

《開催にあたって》

危機管理としての社内体制を確立するにあたっては、内部統制や内部監査に準じて「フレームワーク」「COSO」「PDCA」などの理論が多く提唱されますが、これらを形式的に学んでも血肉にはなりません。本セミナーでは、「そもそも危機管理とは何か、現場がすべきことは何か、獲得目標は何か」を具体的にご説明のうえ、実際に起きた著名な事件を分析し、「このとき、この担当者は何をどうすべきだったのか」についてご参加の皆様にご説明させていただきます。

講師 和田倉門法律事務所 弁護士 野村彩 氏

講師紹介 2001年慶應義塾大学法学部政治学科卒業。2006年立教大学大学院法務研究科卒業。2007年弁護士登録。鳥飼総合法律事務所入所。2016年 和田倉門法律事務所参画。著書・論文に「【万一の際、適切に対処したい企業リスク】ハラスメント対応～いざ起きたとき、どう動くか～(ウィズワークス株式会社)等。不正調査・不祥事対応、人事労務問題対応・予防などに取り組む。



《申込方法》 当会ホームページ (https://www.bri.or.jp) からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

■受講料: 1名(税込・資料代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用法(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員 34,560円(本体価格 32,000円) 一般 37,800円(本体価格 35,000円)

173053-0303 事例に学ぶ『危機管理体制・社内体制』の確立と運用のあり方	
ふりがな 会社名	
住所	
TEL	FAX
ふりがな ご氏名	所属 役職
E-mail	

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当宛E-mailからもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間～10日前まで)に受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認いただけます。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: tamaki@bri.or.jp

・プログラム・

1. 危機管理に関する基礎的知識のおさらい(理論編)

- (1) 危機管理とは何か
 - ・危機管理の目的(企業価値の向上、財務情報の信頼性、法令遵守)
 - ・コストとの兼ね合いをどう考えるか
 - ・米国の歴史、日本の歴史
 - ・法的根拠(内部統制に関する会社法、金融商品取引法の定め)
- (2) 社内体制の構築と運用
 - ・誰が構築するのか
 - ・どの程度の水準が必要か
 - ・どう動かすか

2. 事例から考える危機管理体制、社内体制についての考察(実践編)

～ 第2章では、実際にあった事件に関する公知の情報をもとに、講師がまとめた事例問題を題材として、危機管理体制、社内体制のあり方について考察します～

(1) 事例紹介

- 1) 営業担当が自身の成績を上げるために架空の売上を計上した事案(内部統制が十分なものであったかを裁判所が具体的に検討した事例)
- 2) 従業員がアクセス制限を突破して情報を取得し、インサイダー取引を行った事案
- 3) 行政の認定を受けるために根拠のない数値を用いた事案
- 4) 子会社との取引に関し、売上計上や代金回収の方法に不正があったとして、第三者委員会が調査に入った事案

(2) 事例検討

上記事例1)～4)について、危機管理体制・社内体制は十分であったか、どうすれば防ぐことができたか、再発防止策などを検討
※参加人数によりグループ討議、または、講師・参加者間の質疑を行います。

(3) 講評

- ・検討結果について講師から講評
- ・裁判所や第三者委員会が実際にどのような評価をしたのかについての解説

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで2種類のセミナーをご案内しております。